

教員公募要項（日本中世史）

国立歴史民俗博物館では、大学共同利用機関として、歴史・考古・民俗及び関連諸科学による共同研究を推進し、その成果を研究論文及び展示などの形で広く国内外に公開している。

今回、日本中世史を専門とする研究者を公募する。文献史料の実証的研究能力を備えたうえで、国内外の多様な「もの」資料や人々の生活史に関心をもち、館内外の研究者との学際的な共同研究を主宰する能力を有し、博物館の組織運営、展示活動、大学院教育等に積極的に参画し得る者を求める。

なお、国立歴史民俗博物館では令和4年度より総合展示第2室（中世）のリニューアル事業を開始しており、採用された者は同事業に積極的に関わっていただく。

【公募記号：2025－A】

1. 職 名：准教授（研究教育職員・任期なし）
2. 応募条件：博士の学位を取得した者、または同等の研究能力を有する者。
注：研究業績の条件として、論文5点以上（レフェリー付き論文2点以上を含むこと）、または専門性の高い著書（単著）1冊以上。
3. 募集人数：1名
4. 応募期限：令和7年5月30日（金）17時（必着）
5. 採用予定日：令和8年4月1日
6. 選考方法：第一次選考として書類審査、第二次選考として面接試験を行う。ただし、適任者がいない場合は採用しない。なお、面接試験の旅費は本人負担とする。
7. 処 遇：
 - (1) 勤務形態：同意に基づき、「大学共同利用機関法人人間文化研究機構職員の勤務時間及び休暇等に関する規程」による専門業務型裁量労働制適用
(みなし労働時間：1日7時間45分)
(規程等>人事26：<https://www.nihu.jp/ja/opendoor/regulation>)
 - (2) 給 与 等：「人間文化研究機構職員給与規程」による
(規程等>人事31：<https://www.nihu.jp/ja/opendoor/regulation>)
 - (3) 社会保険等：国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入
8. 提出書類：下記の(1)～(5)
 - (1) 国立歴史民俗博物館教員応募出願書……………(別紙様式1) 1部
 - (2) 履歴書……………(別紙様式2) 1部
 - (3) 研究業績目録……………(別紙様式3) 1部
注1：主要な研究業績を新しいものから順に記入すること。
注2：「別紙様式1～3」については、ホームページからダウンロード可。
(職員の採用情報：<https://www.rekihaku.ac.jp/others/employment.html>)
 - (4) 審査を希望する専門性の高い著書1冊または論文3点（写でも可）
注1：審査を希望する研究業績については、10年以内のもので既発表の著書・論文に限る。外国語の著書・論文については日本語訳を付けること（著書については概要20,000字以内、論文については全訳）。
注2：掲載を予定して発行者が受理済みのもの、または刊行を予定している著書・論文については、校正刷り及び発行者の掲載証明書等を添付すること。
 - (5) 本館に採用された場合の共同研究計画及び博物館活動に対する抱負を日本語で3,000字以内にまとめたもの……………1部
(注) 提出された書類は返却しないが、(4)の著書等が原本である場合は返却する。

9. 書類提出先：〒285-8502 千葉県佐倉市城内町1-1-7番地

人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館人事係 宛

※郵送の場合は、封筒の表に必ず「教員公募関係【2025-A】」と朱書し、
書留やレターパックなど配送記録の残るもので送付すること。

10. 事務担当：管理部総務課人事係 Mail：jinji@ml.rekihaku.ac.jp

11. その他

人間文化研究機構国立歴史民俗博物館は、女性の社会活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援・環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

女性活躍推進法に基づく行動計画：<https://www.nihu.jp/ja/opendoor/danjo/jyoseikatsuyaku>